

はじめに



北広島市社会福祉協議会は、昭和30年に設立以来、北広島市の地域福祉に微力ながら貢献してまいりました。これも偏に皆様のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。

現在、北広島市と北海道日本ハムファイターズが進めているボールパーク構想は、日々、その壮大さが現れ、北広島市の未来に大きな期待が高まっています。

とはいえ、これまでにない高齢社会を迎える中、北広島市も例外ではありません。札幌市のベッドタウンとして一時期に多くの人が入居した北広島市は、世代が移り変わり町の様相が大きく変化しています。ボールパークをはじめショッピングセンターや工業団地など、人の集まる施設が増加している一方、空き家や高齢世帯も増え、一部町内会ではその存続も危ぶまれている状況です。

また、新型コロナウイルス感染症の脅威は、私たちの日常に大きな変化をもたらしました。

これまで、「誰もがいきいきと安心して暮らすことのできるまちづくり」として地域福祉をすすめてきましたが、より地域全体で「ともに支え合う」ことが、いま求められています。

この第7期地域福祉実践計画は、北広島市の第5期地域福祉計画とともに、令和8年度までの地域福祉の根幹をなすものとして策定しました。また、全体のテーマも「誰もが支え合いながら安心して暮らすことのできるまちづくり」とし、新たな生活様式を踏まえながら、皆さんとともに地域福祉の推進に努めてまいりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に、お忙しい中、また新型コロナウイルスの蔓延という厳しい折、この実践計画の策定にご尽力いただきました、策定委員の皆様には、心より御礼を申し上げます。

令和3年3月

社会福祉法人 北広島市社会福祉協議会
会長 川島 光行